

YIA 会員だより 2023年3月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第219号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【3月以降の活動予定他】

お花見：3月26日（日）13:30～ 場所未定

※機関誌19号発行 3月下旬に会員宛送付します

◆多文化共生交流会を初開催 萩森 健治

YIA 設立30周年を記念して、2月19日に初めて「多文化共生交流会」を開催しました。コロナ感染の規制が緩和される中で71人が参加し、盛大で楽しい交流会となりました。参加者の内訳は、ベトナム、中国、インドネシア、フィリピン出身の発表者10名、外国人の応援15名、市民の方々28名、YIA関係者17名、総勢71名でした。

三原副会長の司会で始まり、萩森が開会の挨拶と交流会の紹介をしました。続いて、以下の順にそれぞれ出身国の地図、自然、食べ物、民族衣装、お祭り、有名な観光地などについてスライドで紹介しました。日本に来て楽しかったことや困ったことなども話しました。また、歌や踊りを披露しました。

- ① フィリピン講演 ② ベトナム講演 休憩10分
- ③ 中国講演と中国手品披露 ④ インドネシア講演と踊り
- ⑤ ベトナムのバンブーダンス

発表者の皆さんは、仕事が忙しい中よく練習しており、すばらしい講演と踊りなどを披露してくれました。

また、中国出身者と一緒に平田さんが手品を披露。インタンさん、ナナさん、ディアさん、エラさんのインドネシアの踊りは素晴らしかったです。また、オカリナ演奏できらきら星を三か国語で歌いました。

最後にベトナムのチンさん、



トウヒエンさんが指導してバンブーダンスをみんなで楽しみました。

次に、外国人発表者と参加者との交流会がありました。

交流会では、会場から多くの質問があり4か国の出場者が

上手な日本語やすこし拙い日本語で一生懸命答えていました。

閉会に当たり、瀬尾副会長は「このような多文化共生交流会を今後も継続して開催したい」と挨拶しました。



◆鴨島一中での交流学习講座

新居博

鴨島第一中学校の交流学习の時間(2月8日午後)に、一年生17人を対象にして「グローバル化とコミュニケーション」と題して講演を行いました。

グローバル企業での勤務の経験をもとに、アメリカの中規模都市での学校



や日常生活の紹介、グローバル化の進展と私たちの生活の関係、グローバル化社会での異文化コミュニケーション力の重要性について話をしました。

グローバル化社会では食料、原料、製品などの貿易を通じて世界中の人々と密接につながっており、物、人、金、情報が地球規模で動く共生社会であることを具体的な例を引用しながら話しました。

我々が日常生活の中で使っているものがどこで作られたかをみんなで文房具や食べ物を使って勉強しました。また世界各国ではそれぞれ異なる紙幣やコインを使っていることや国を超えて移動するためにパスポートが必要なことを話しました。各国の紙幣、コインやたくさんのスタンプが押されたパスポートなどを見ながら世界を感じてもらいました。

グローバル共生社会では色々な価値観や考え方を持つ人々とのかかわりが多くなりコミュニケーション力が重要となることを話しました。まず第一歩として日本語で身近の人と上手にコミュニケーションができるようにしましょう。そして続いて外国の人々との異文化コミュニケーション力を身につけましょう。そのためには習い始めた英語の勉強をしっかりと、他国や地域の価値観や文化のもとになっている歴史や地理の勉強にも興味を持ってほしいことを話しました。

参加者全員が話を真剣に聞いて、紙幣コインパスポートの実物を興味深く見て、最後の質問コーナーでも積極的に手を挙げて発言してくれました。

中学一年生では、日本を超えた広い世界があることをまだ実感することはあまりないと思いますが 今回の講演を契機に少しでもそういう視点で考えるようになってくれたらうれしく思っています。

◆鴨島第一中学校の交流学习を参観 羽山 知恵子

2月8日(水)、鴨島第一中学校で「人・まち・出会い・発見」と題する交流学习が行われ、YIAの萩森会長と新居理事が講師役で出前授業を行いました。今回、私は萩森会長の授業を参観しました。

講義では「在住外国人との交流・共生」についてスライドで分かりやすく説明されました。概要は以下のとおりです。

- ① 国内、県内、市内の外国人と労働者
- ② 技能実習制度の概要
- ③ 徳島県の外国人受け入れに対する支援施策
- ④ 吉野川市国際交流協会の活動
- ⑤ 在住外国人との共生するための課題

多岐にわたるテーマであり、また徳島県や吉野川市の現状と共に国際化に関する



講義を大変興味深く聞かせていただきました。さらに萩森さんご自身をありのままに語っていただき、担当の先生や生徒さんたちのお心に響きわたり、困難な時の大きな希望に繋がると思いました。更にさらに！日本語指導の多くのご経験がYIAの歴史として引き継がれることと受け取り、生徒さん達に言語や人と人との繋がりによる異文化交流の大切さが伝えられました。

参加したのは1年生の男子5名、女子10名でした。皆さん熱心に聞き、メモしていました。可愛らしいですね！

一人の男子生徒から「国際交流協会で活動されるようになったきっかけは？」との質問がありました。これに対して、萩森さんが「良い質問ですね。定年退職して鴨島に戻った時期、地元で友人を作ること、地域でやりがいのある活動を探していたことなどがきっかけです」と回答。その男の子は本当に嬉しかったと思います。

授業を担当された新居さん共々大変お疲れ様でした。